

# 「はま道場」各講座について

無学年  
進級式

思考力養成講座

計算道場

漢字道場

能力開発

反復演習で基礎固め

「はま道場」はお子さまの実力より少しだけ難しい問題に挑戦していく小学生向けの講座です。まずはお子さまに合ったレベルからスタート。その後、学年には関係なく、それぞれのスピードでレベルアップするので、無理なく楽しく力をつけていくことができます。基礎学力と思考力が効果的に養成できるため、日本では期間中受験生も受講しています。

実際の「はま道場」の問題にチャレンジしてみよう!!

## 「はま道場」が 目指すものとは?

試行錯誤できる力 + 問題解決できる力

この2つの力を身につけるには、自分の課題に対して

「はま道場」では、点数、偏差値に重きを置いた指導をせず、他の生徒と比較したり競争させたりしません。誰かより「早くできた」「正解した問題数が多かった」ことよりも、決められた時間内にしっかりと集中して「問題に向かい」、間違ったときには、考える方向を変えてみたりしながら、もう一度「考え直し」「答えを見つけ出し」ていく。そうした経験が、学業ならびに学業以外の事柄にも大きな効果をもたらすものと考え、指導にあたっています。



特に、繰り返し考え直す(習慣)が大切! 時には考え方、見方を変えることも必要

さらに 毎回の宿題で学力と自立学習の習慣を定着させます!

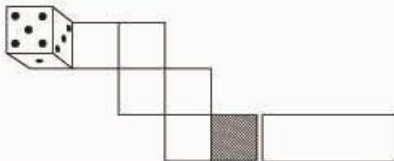
計算道場・漢字道場では授業の最後に宿題が出ます。すでに授業で学習した内容ですので、保護者の方が教える必要はありません。毎回ちゃんと取り組んでいるかを見てあげてください。

## 講座1 思考力養成講座

図形認識能力・空間把握能力・数論能力・言語能力の4つの領域から思考力を育てます。

「十円玉って、どんな形?」と子どもたちに尋ねると、たいていは「円」とか「丸」とか答えます。そこで「違うよ、長方形だよ。ジュースの自動販売機のお金を入れるところを見てごらん。どんな形かな?」と返答をあげると、「そうか、楕円」となります。このように、目撃当たり前だと思い込んでいることを別の角度から理論的・客観的に見直し、発想を転換したり新しいアイデアを生み出したりできる思考力を育てることが、この「思考力養成講座」のねらいです。

**空間** 問) サイコロを、図の位置から適にそって転がしていきます。斜線の位置でとまったとき、サイコロの上の面の数はいくつですか。



**解説**

この問題は、頭の中でサイコロを回転させることにより立体的な物の見方を可能にし、物事を多角的に捉えることのできる柔軟な思考力を養うことができます。1つの事象の解決法をいくつも見出せる力を養います。

解答 1

## 講座3 漢字道場

小学校で学習する1006字の漢字を10級～1級にクラス分けして演習。級が上がれば漢字の読み書きだけではなく、その漢字を使った熟語までもが学習できます。

問) 書く順番が正しいのはどれですか。□に○をつけましょう。

① 六			② 上		
(ウ)	(イ)	(ロ)	(ウ)	(イ)	(ロ)
一	一	一	一	一	一
ナ	ナ	ナ	上	上	上
六	六	六	上	上	上
□	□	□	□	□	□

**解説**

漢字道場では漢字の書き順や成り立ちといった基本の学習から、漢字を使用した熟語などを学習します。漢字・熟語の実力を身につけて「漢字博士」を目指しましょう。

解答 ① (ウ)  
② (ア)

## 講座2 計算道場

小学1年生のひとけたのたし算から、小学6年生の分数のかけ算・わり算までを10級～1級にクラス分けして演習。級が上がることにより確実に計算力が向上していきます。

問) 次の問題に答えましょう。□の中に計算式を、\_に答えを入れて下さい。

① 1 そうのボートに3人乗れます。ボートが7そうの何人乗れますか。

式  答え  人

② 1 台の車に4人乗れます。車が8台の何人乗れますか。

式  答え  人

**解説**

計算道場では、基本である足し算から分数のかけ算・わり算までを学びます。計算力をつけ、基礎をしっかりとマスターしましょう。

解答 ① 式  $3 \times 7 = 21$   
答え 21人  
② 式  $4 \times 8 = 32$   
答え 32人